

F 3 A - E S C Vr2.1 説明書

この度はF 3 A - E S C Vr2.1をご購入いただき誠にありがとうございます。

このF 3 A - E S C Vr2.1を初心者の方が正しく使用することはできません。

特徴

電圧：5～12S（最大50.4V）

電流：最大120A

重量：85g

OPTO 絶縁（フェライトリング不要）

温度保護機能（ESCは100°でシャットダウンします。）

ESCは直接風の当たる場所にできるだけ立てて配置して十分な冷却を必ず行ってください、冷却が無い場合には50Aで焼損します。

双葉送信機の場合スロットルチャンネルのATVを+125%、-125%に、又スロットルチャンネルをリバースに設定してください。

ESCは使用するモーターに合わせてプログラムすることが可能になりました。

プログラム変更は弊社までお送りください。

各コード接続ピンには品質の良い物をご使用ください、このESCにはアンチスパーク機能がありませんのでアンチスパークプラグをご使用ください。

アンチスパークプラグを使用しない場合にはコネクタは劣化しますので時々点検して交換などの対応を取ってください。

温度が上がると収縮チューブが変形します、危険です。

回転テストをする前に安全の為プロペラを外しておきましょう

ESCの長いコード(オレンジ信号線、茶グランド)を受信機にしっかりと接続します、差し込みが緩い場合には抑え等工夫して下さい。

短いコードはプログラム書き換えの為のコードになります、受信機へ接続しないでください。

次に送信機/ON（スティック最スロー）、受信機/ONにします、バッテリーをESCに接続後3回のビーブ音、その後低音が1回、高音が1回なります、最後の高音が出ない場合には最スローになっていない、又はチャンネルを間違えている等をチェックしてください。

モーター回転が逆の場合には2本のワイヤーを入れ替えてください。

このESCはモーター回転を強力に制御しますので送信機のスロットルディレイ、コンディショニング機能を設定することをお勧めいたします。

送信機のコンディショニング機能で各コンディショニングの回転数を設定します。

デフォルトコンディショニング、フライトコンディショニング、スピンコンディショニング、着陸コンディショニングを設定します、それぞれのコンディショニングのスロットルカーブを作ります。

ここでは双葉 32MZ、18MZや18SZ等のスイッチ割り当て例を記します。

減速ユニットのスロットルカーブの例を下記に記載します。

使用するユニットやプロペラで電流値は大きく変わります、ご自分のユニットの電流値を良く把握してハイポイントの%を決めてください。

デフォルトコンディション→SWC上の位置

：アイドル回転：停止～ハイまで（AFR 0%～70%～100%）

フライトコンディション → SWCセンターの位置

：スローポイント-11%、中スローポイント 60%、ハイポイント 70%～100%

（離陸後はフライトコンディションONでフライトします）

スピンコンディション → SWC以外のスイッチを選択

： アイドル回転は好みの回転にセット、中スローポイント 60%、ハイ 70%～100%

着陸コンディション → SWC下の位置

：アイドル回転、 0～600rpm～ハイ 70%～100%

スナップロール時のスロットルカーブはフライトコンディションと同じです。

スロットルカーブは単純に3ポイント又は5ポイントのカーブで問題ありません。

又スロットルカット機能を使用していつでもモーター止められるようにしてください。

地上で十分にこのアンプの特性を把握して下さい。

注意

*ご使用になるプロペラで必ず最大電流値を確認して、ESCの能力以上の電流が流れないように注意してください、

*1度でもご使用になられたESCの返品、交換には応じられません。

*各コンディションによりアイドル回転は違いますのでご自分のフィーリングに合わせてアイドル回転を設定して下さい。

*このESCはプログラムにより一般的なF3Aモーターユニット等に設定変更することが出来ます。

設定変更ご希望の場合には弊社までお送りください。

*双葉R7008SB又はR7108SBを使用している場合、受信機スイッチをOFFにするときに多少プロペラが回転する傾向にありますのでご注意ください。

*このはESC予告なく機能の変更を行います。

〒290-0142 千葉県市原市ちはら台南 1-13-6

AKBエアークラフト 080-5459-7030